

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
レベル I	N S	意：患者に寄り添うグリーフケア(緩) ケ：看護記録～基礎編(シ) → ニ：バイタルサインの評価(教) ニ：看護師向け身体診察初級編(教)		ニ：複数患者への対応～アセスメントの強化～(教)				意：日常の看護ケアで考える倫理(緩)				
	講義		自：ポートフォリオについて(教)				ケ：看護記録のポイント(シ) → ケ：訪問看護について(訪)	ケ：心電図留学(研)			自：ポートフォリオ発表(教) 3月	
レベル II	N S	協：病院看護師が行う入退院支援(退) → ケ：看護記録～中級編(シ) → ニ：看護師向け身体診察中級編(教) 組：メンバーシップとは。チームメンバーとしての役割(教)	研：看護研究1～4(教)		協：多職種連携～よりよいチーム医療を目指して(緩)		意：日常の看護ケアで考える倫理(緩) ケ：最新のエビデンスに基づいた褥瘡管理方法(褥)	ニ：新人からベテランまで誰もが知っておくべきやさしい心電図の読み方基礎編(教)				
	講義		ケ：2年目看護師認定研修会(褥)		協：入退院支援における病棟看護師の役割(退)		ケ：看護記録のポイント(シ) → ケ：褥瘡の治療管理 DESIZN-R 講師：鶴木医師(褥) ケ：院内留学 5日間(教) 自：厚生連 プリセプター研修会(教) ケ：訪問看護について(訪)				自：事例発表(研) 3月	
レベル III	N S	ケ：看護記録～中級編(シ) →	研：看護研究5(研) ケ：摂食嚥下ケアのための基礎と実際(摂)		協：多職種連携～よりよいチーム医療を目指して(緩)		意：日常の看護ケアで考える倫理(緩) ケ：最新のエビデンスに基づいた褥瘡管理方法(褥) ケ：訪問看護について(訪)					
	講義						ケ：看護記録のポイント(シ) → ケ：褥瘡の治療管理 DESIZN-R 講師：鶴木医師(褥)				研：看護研究発表(教)	
レベル IV	N S	ケ：看護記録～中級編(シ) →	研：看護研究6(研)				ケ：最新のエビデンスに基づいた褥瘡管理方法(褥)					
	講義											
全職員	N S	ケ：認知症患者に対する物理的な環境調整(認) 対：アサーティブコミュニケーション(教)	意：アドバンス・ケア・プランニングとは？(緩) ニ：迅速なフィジカルアセスメントで行う急変予測と対応(安)	ケ：重症度、医療、看護必要度改定のポイント(シ) 院内評価者研修 重症度、医療、看護必要度①テスト実施 協：(仮) ケアマネージャーの役割 講師：ケアマネージャー(退) 組：手荒れと感染対策の深い関係(感)	協：(仮) ケアマネージャーの役割 講師：ケアマネージャー(退) 組：手荒れと感染対策の深い関係(感)			協：(仮) 社会福祉制度について 講師：MSW(退)		意：(仮) 困難事例グループワーク(退)		
	講義			ZOOM研修 タイトル未定 講師：漆畑医師(緩) ケ：院内評価者研修(シ) ニ：急変時対応 一次救命～挿管介助までの実演(安) 組：手指消毒の5つのタイミング シミュレーション研修(感)		ケ：食事時のポジショニング(摂)	ケ：BPSDへの対応(徘徊・物忘れ・妄想)(認)		組：手洗い研修 ブラックライトを用いた手洗い(感)			

*看護実践能力 【ニ：ニーズをとらえる力 ケ：ケアする力 協：協働する力 意：意思決定を支える力】 * (教)教育委員会 (感)感染委員会 (褥)褥瘡委員会 (シ)システム記録委員会 (認)認知症ケアチーム
 組織的役割遂行能力 【組：組織管理能力 対：対人能力 教育・研究 【自：自己教育能力 研：研究能力】 (摂)摂食ケアチーム (緩)緩 (感)感染対策の深い関係 (安)医療安全 (退)退院支援 (訪)訪問看護
 ※ 研修受講印は研修名の上に押印